

駈ける

内山秀之遺稿集

内山秀之氏(うちやま・ひでゆき)の経歴

出生地	北海道小樽市
生年月日	昭和9年3月1日
本籍	千葉県山武郡白里町南今泉4704番地
資格取得 経歴	昭和61年8月8日 技術士登録(農業土木)第19456号
昭和27年3月	千葉県立千葉第一高等学校(現・千葉高校)卒業
昭和32年3月	岩手大学農学部農業工学科卒業
昭和32年4月	北海道職員採用 農地開拓部土地改良課軌道客土係
昭和34年6月	石狩支庁耕地課団体営係
昭和40年6月	道農地開拓部土地改良課ほ場整備係
昭和48年5月	釧路支庁耕地課土地改良係長
昭和50年8月	農地開発部総務課設計管理室主査
昭和52年9月	農地開発部総務課設計管理室設計係長
昭和53年8月	農地開発部設計管理課設計係長
昭和55年5月	農地開発部農業水利課畑地総合改良係長
昭和58年8月	農地開発部設計管理課主幹
昭和61年6月	道退職
昭和61年7月	北王コンサルタント(株)常務取締役就任
昭和63年9月	社団法人北海道農業土木協会常務理事就任

平成3年7月17日没(57歳)

序文に代えて

北海道環境科学研究センター

所長 平野 鉄也

内山さんが黄泉の世界に旅立ってから早一年が過ぎた。亡くなって間もなく、内山さんをよく知る仲間から功績を偲んで記念誌をつくって見たらどうか、との声があがった。

そして、この度、関係者の努力により立派な遺稿集「駈ける」ができあがったことは、まことに喜びに堪えません。

農業土木に従事している我々の仲間は先輩を含め数多くいる。皆、夫々の立場、分野で創意工夫をこらしながら仕事を進めてきた。このような中で、内山さんは、早くに技術士を取得し、新しい事業の創設や取り組みなど自分の研究成果を農業土木学会、農業土木技術連盟、各種技術研究会などにおいて、論文としてまとめ数々発表している。農業土木について並々ならぬ情熱を傾け、新しい構想を樹て実践に移す姿勢と努力には、頭が下がる思いでいっぱいであった。亡くなってから、こういったことが共感を呼び、これまで発表されたものの中から整理編纂し、併せて内山さんの思い出も載せてはということになった。編纂に当たられた皆さん、原稿を寄せてくれた皆さんに心から感謝申し上げます。

内山さんの道職員最後の職場は、農地開発部設計管理課であり、私はその時の課長であった。私が在任中、内山さんには数多くの仕事をしてもらった。

- 1 委託測量設計について、実態に則した設計・積算に関する内容の分析や手法
- 2 委託設計にプロポーザルシステムの導入
- 3 発足間もない農業土木協会の体制作りのための企画と実践
- 4 会計検査対策の技術指導
- 5 OB対策のため、発注先の会社の業績・経理・人事などの内容分析表の作成
- 6 農開部出身OBの経歴一覧表の作成

等々であるが、いずれも立派に成し遂げてくれた。心から感謝し敬意を表する次第です。

最後に、内山さんの思い出として、白い頭髪と細い目、小声で早口のしゃべり、読みづらい書き下しのペーパー、早打ちマックのゴルフとマージャンなど、今でも深く脳裏に焼きついている。農業土木に虹をかけた男、内山秀之さんの霊に、謹んでこの遺稿集「駈ける」を供え御冥福を祈り、序文に代えます。

【目 次】

口 絵	1
自筆の草稿	3
内山秀之氏の経歴	4
序 文 内山語録	藤原 壽美..... 6
序 文	橋本 正三..... 7
序文に代えて	平野 鉄也..... 8
偲ぶ記	10
発表論文等	31
故 内山秀之さんを偲ぶ会(収録)	191
あとがき	205

遺稿集標題「駈ける」について

故内山さんの農業土木に注いだ情熱, 生きざまをイメージして, 「農業土木に虹を駈けて」としました。

この場合の「駈けて」はやはり「架けて」とか「懸けて」が日本語としては妥当でないかとの意見がありました, 故内山さんのイメージとしては「駈けて」が捨て難く, 一周忌の席での話し合いで「駈ける」にしようということになりました。

57年の人生を急いで駈け抜けて逝ってしまった故人のイメージにピッタリの標題になったと, 発起人一同, 自画自賛しております。

揮毫は北村秋利さん(北王コンサルタント)にお願いしました。

発表論文等

1. ほ場整備工事における機械施工	33
2. ほ場整備事業の夏季施工について(中間報告)	38
3. コンクリートの耐久性と強度についての一考察	42
4. コンクリートの耐久性と強度に関する考察 その2	46
5. 会検雑感	52
6. コンクリート2次製品(RC板・V型トラフ)の劣化損傷に 関する一考察	55
7. コンクリート2次製品の劣化損失に関する定量的解析に ついての一考察	59
8. 畑地帯総合土地改良事業の現状と問題点	66
9. 寒冷地におけるコンクリート施設の劣化・損傷	74
10. 酪農と営農用水事業	80
11. 畑地に水を	82
12. 畑地かんがい施設に関する一考察	87
13. 農業道路としての水兼道路の構想とその具体化	91
14. 事業の上からみる畑作改良技術	96
15. ほ場整備と五人会	99
16. 圃場整備の設計積算の転換期	101
17. 水路兼用道路構造の検討	104
18. 小樽自然休養村の道路構造検討	108
19. 十勝地域農業の構造特質と畑地灌漑事業化に関する検討	112
20. 暗渠被覆としての礫質材の利用とその施工性について	128
21. トラフ水路における背面裏込砂利層厚相違による 発生凍上力の推定解析, 並びに偏位による材質強 度等の検証について	140
22. コンクリート構造施設の初期損傷に対する判定手法に ついて	153
23. コンクリート構造物の設計について(1)	160
24. コンクリート構造物の設計について(2)	167
25. 篠津地区土地改良施設利活用計画調査	171
26. コンクリート構造物の設計について(3)	183

★収録に当たっては、発表順に掲載することとし
脱字等を直したほかは原文のままとしました

あ と が き

昨年(1997)の11月29日に内山さんを偲ぶ会がありまして、その節、内山さんが我々に遺して下さった技術文献等が多く残っているので、遺稿集を皆で作らしようとの声があり、参会者全員の賛同を得て編集がスタートしたのですが、故人の人柄から大勢の方が御協力下され、お陰様で立派に完成致しました。編集に当たっては、農業土木新聞社の野城さんが中心となり、道庁の高田元之さんを始め多くの現役の方々、北王コンサルタントの北村泰介さん、北海道農業土木協会の中川事務局長さんに、企画から校正まで、大変御協力いただきました。また、この出版費用については当初より、発起人有志一同で負担し非売品として関係者に贈呈することとしていましたが、費用の一部にとご親族を始め、北王コンサルタント等より多大な御芳志の御寄贈がありました。さらに農業土木新聞社が印刷製本を原価で引き受けて下さいましたので、立派な遺稿集を関係の皆様にお届けすることが出来ました。

御協力下さいました大勢の方々に深く感謝申し上げますとともに、この本が、内山さんが北海道の農業の近代化に傾けた情熱と足跡の証しとなり、北海道農業土木界にすばらしい男がいたことを語り合い、思い出しながら、内山さんの御遺徳を偲ぶ記念となれば幸いです。

なお、遺稿集の編纂に当たり、下記の方々のご協力をいただきました。

秋江 申夫	飯田 晏久	井上 武雄	池田 正義	伊藤 典晃
小川 昭男	大野 忍	小野 克征	大浦 貢	加茂 豊
加賀 茂樹	樫野 喜明	金子健一朗	川向 一由	北村 秋利
北村 泰介	小菅生太重	堺 俊夫	桜庭 松雄	斉藤 勝朗
斉藤 繁男	田井 敏恭	高根 仟	高田 元之	中川 寛教
西沢 清利	猫塚 詔雄	林 捨明	松本 登	野城 正功

(アイウエオ順・敬称略)

誌上をお借りして、厚く御礼申し上げます。

(藤田 秀三)

内山秀之遺稿集

平成4年10月

(1992)

「故内山秀之氏を偲ぶ会」編纂

発行 農業土木新聞社

印刷 興国印刷

〔非売品〕